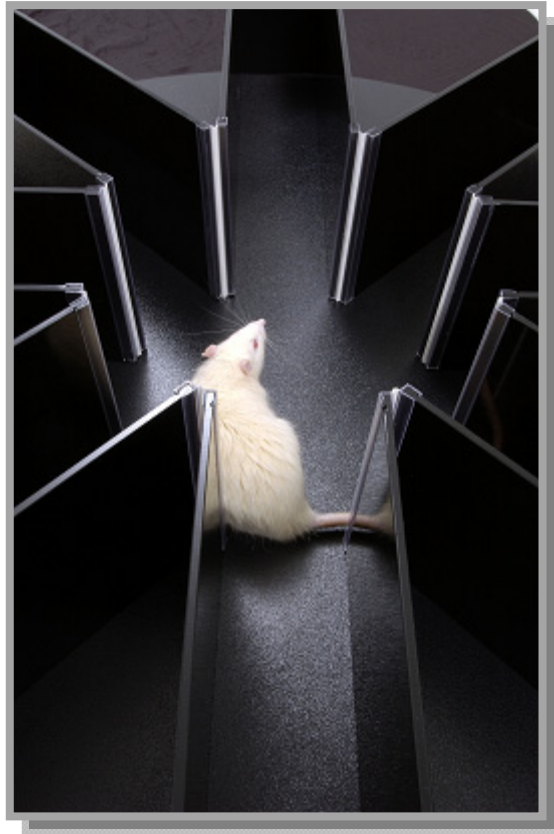


CRLJ動物 文献集

【精神・神経研究分野】



日本チャールス・リバー株式会社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-17-6 イノテックビル11F
TEL:045-474-9340 FAX:045-474-9341

<http://www.crj.co.jp>

アルツハイマー関連文献リスト(1998-2004)

日本チャールス・リバー株式会社

分野・キーワード	表題・研究者・掲載雑誌
アルツハイマー病態モデル アミロイドβ-1-42、自発的 交替行動、空間学習記 憶、モリス水迷路、 受動回避学習、 アセチルコリン合成酵素、 F344、18-20W、♂	<p>Progressive brain dysfunction following intracerebroventricular infusion of β 1-42 amyloid peptide</p> <p>S Nakamura, Tomochika Ohno, et al., サントリー Brain Research 912 128-136(2001)</p> <p>β 1-42 アミロイドペプチドを3日間脳室内注入し、Aβ-1-42注入後の神経伝達化学物質の変化、病理組織的变化、及びそれに伴う進行性記憶障害の発生過程と各種機能行動を測定 Aβの投与量依存的に、経日的に自発交替行動(学習獲得)率が減少、回避潜時が長くなった。 Aβ投与12週後では脳室の拡張がみられ、海馬CA1領域での神経損傷が3週後や対照群に比し進行</p>
アルツハイマー治療剤 RS-1259、経口投与、 (アセチルコリンエステラーゼ阻害 機能とセロトニン輸送機能 をもつ) 老齢ラット、水迷路試験 F344 24-25ヶ月齢 ♀	<p>Pharmacological characterization of RS-1259, an orally active dual inhibitor of acetylcholinesterase and serotonin transporter, in rodents: possible treatment of Alzheimer's disease</p> <p>Y Abe, T.Kaneko, 他 三共(株) J Pharmacol Sci 93 95-105(2003)</p> <p>老齢ラットを用いて抗痴呆薬の薬効薬理、 固定及び浮動の2個のプラットフォーム持つ水迷路試験(TPT)を実施、短期記憶障害を評価 プール内のスタート地点とプラットフォーム2個の位置は試行毎にかえてあり、プラットフォーム選択確率を測定 RS-1259は既剤Donepezilと同程度の確率を獲得し、学習記憶の改善効果を示した。</p>
アルツハイマー病態モデル 痴呆症、 アミロイドβ 25-35、 受動回避反応試験、 アセチルコリン合成酵素、 全薬工業 SD 7W(200-260g) ♀	<p>Antiamnesic effects of azaindolizone derivative ZSET845 on impaired learning and decreased ChAT activity induced by amyloid-β 25-35 in the rat</p> <p>Y.Yamaguchi, S.Kawashima, 他 全薬工業 Brain Research 945 259-265(2002)</p> <p>アミロイドβ 25-35の5日連続脳室内注入後、受動回避反応試験(獲得試行+保持試行)により学習記憶機能を測定。 ZSET845(サントリジン誘導体)はAβにより減少した保持試行回避潜時を改善、アセチルコリン合成酵素活性を増加させた。</p>
アルツハイマー治療剤、 抗不安薬、 アルツハイマー性うつ症状、 βアミロイド(1-40) オピオイド1受容体作動 薬、 電気ショックストレス、 Aβ脳神経アミロイド量 Wis 200-230g ♀	<p>Enhanced antidepressant efficacy of σ1 receptor agonists in rats after chronic intracerebroventricular infusion of β-amyloid-(1-40)protein</p> <p>Y.,Noda, T.Maurice, 他 名大・医院、ファイザー Eur J Pharmacol 486 151-161(2004)</p> <p>βアミロイド-1(1-40)を脳室内に4日間注入し、条件つき恐怖(音と光線)ストレス試験による回避行動数を測定、 Aβ投与後電気ショックによる行動回数の減少は顕著、高濃度の選択的σ1受容体作動薬Igmeline投与で改善される。既剤のNE-100やprogesteroneはショックの無い時点では行動を増加できるが、 ストレス下では効果なし。ストレス下で効果のあるIgmelineはアルツハイマーでのうつ症状改善剤としての可能性</p>
アルツハイマー病態モデル Aβ-1-42、Aβ-1-40 治療剤、nifiracetam Y迷路、モリス水迷路試 験、 空間作業記憶、受動回 避学習、アセチルコリン合成 酵素 Wis 7W、♂	<p>Improvement by nifiracetam of β-amyloid-(1-42)-induced learning and memory impairments in rats</p> <p>K Yamada, Toshitaka Nabeshima et al., 名古屋大・医薬 Brit J Pharmacol., 126, 4235-244(1999)</p> <p>脳室内連続注入でのアルツハイマー症状(Y迷路、水迷路、受動回避試験での行動変化、空間認識障害)は Aβ-1-40よりAβ-1-42の方が強い。 Nifiracetamの経口投与はAβ-1-42注入ラットの行動試験での学習記憶障害を改善した。 海馬のアセチルコリン合成酵素活性の上昇、大脳皮質、線条体でのトーミンの放出の増加がみられた。</p>
アルツハイマー病態モデル βアミロイド(Aβ)-(1-42) 卵摘(1ヶ月、3ヶ月)ラ ット、 学習記憶障害、 自発的交替行動試験、 Y迷路、モリス水迷路、 体重、血清中エストロゲン、 卵胞ホルモン(FSH)、	<p>Long-term deprivation of oestrogens by ovariectomy potentiates β-amyloid-induced working memory deficits in rats</p> <p>K Yamada, Toshitaka Nabeshima et al., 名古屋大・医薬 Brit J Pharmacol., 128, 419-427(1999)</p> <p>卵摘ラットにAβ-(1-42)を連続脳内注入し、Y迷路試験による学習記憶障害の程度を測定 卵摘のみでは学習記憶行動や自発的交替行動に正常ラットとの差は無い。 卵摘後3ヶ月+Aβ群では、偽卵摘+Aβ群に比し障害が大。 長期のエストロゲン欠損状態ではAβ誘導学習記憶障害への感受性が高くなっていることが示唆される。</p>
アルツハイマー病態モデル Aβ-1-42、Aβ-1-40 治療剤、酸化ストレス idebenone、α-トコフェ ール、Y迷路、モリス水迷路、 空間作業記憶、 受動回避学習 Wis 7W、♂	<p>Protective effects of idebenone and α-tocopherol on β-amyloid-(1-42)-induced learning and memory deficits in rats: implication of oxidative stress in β-amyloid-induced neurotoxicity in vivo</p> <p>K Yamada, Toshitaka Nabeshima et al., 名古屋大・医薬 Brit J Neuroscience 11 83-90(1999)</p> <p>アミロイドβペプチド誘導アルツハイマー障害(自発的交替行動変化や空間記憶障害)はAβ-1-42注入の方が Aβ-1-40注入より強く出る。 抗酸化剤(idebenoneやα-トコフェール)はY迷路と水迷路における行動障害を改善した。 受動回避課題迷路は前投与では改善されなかった。 抗酸化剤はAβにより引き起こされる学習記憶障害の治療に有効であることが示唆された。</p>
アルツハイマー病態モデル Aβ-1-40、治療剤、 Y迷路、モリス水迷路、空 間作業記憶、受動回避 学習、 Wis 240-260g、♂	<p>NC-1900, and active fragment analog of arginine vasopressin, improves learning and memory deficits induced by β-amyloid protein in rats</p> <p>T Tanaka, Toshitaka Nabeshima et al., 名古屋大・医薬 Eur J Pharmacol 352 135-142(1998)</p> <p>Aβ-1-40の脳室内連続注入によるアルツハイマーモデルラットを作成、コントロールには溶剤のみを注入 NC-1900(アルキニンバゾレシン同族体)は水迷路、受動回避課題での学習記憶障害を優位に改善、 前頭皮質のコリアセチルトランスフェラーゼ活性を増加させた。</p>

脳血管障害性痴呆関連文献リスト(2002-2004)

日本チャールス・リバー株式会社

分野・キーワード	表題・研究者・掲載雑誌
多発性梗塞モデル、ミクrosフェア梗塞、高次中枢機能、脳血流量変化、神経細胞壊死、アセチルコリン、モアミン、ATP、乳酸量、GABA、ノルアドレナリン、モリス水迷路、能動・受動回避試験、Wis, 7W, ♂	<p>マイクロフェア栓塞による脳梗塞モデル</p> <p>高木恵子 竹尾聰 東京薬科大 日薬理誌(<i>Folia Pharmacol Jpn</i>) 121 440-446(2003)</p> <p>マイクロフェア栓塞によるヒト類似重篤な多発性梗塞病態モデル(マイクロフェア径、数、閉塞部位などの検討)右内頸動脈へ径50μmのマイクロフェアを700-900個注入し、内頸動脈がら分岐する翼突口蓋動脈を閉塞すると、脳卒中様神経症状を呈す割合が82%と高い成功率となった。運動機能は正常で高次中枢機能障害を誘発しており、長期にわたる記憶学習障害を評価するモデルとしても有用</p>
治療剤、脳梗塞モデル、虚血モデル、モリス水迷路、学習記憶、サイクリックAMP、回避潜時、探索行動、水泳距離、速さ、Wis, 180-220g, ♂	<p>Effects of a phosphodiesterase IV inhibitor rolipram on microsphere embolism-induced defects in memory function and cerebral cyclic AMP signal transduction system in rats</p> <p>A.Nagakura, S.Takeo,他 東京薬科大 <i>Brit. J. Pharmac.</i> 1351783-1793(2002)</p> <p>マイクロフェア誘発栓塞症モデルラット作製: 48μ径のマイクロフェアを900個注入、モリス水迷路で回避潜時が長期化学習記憶障害が生じた。ATP産生回路が破壊された。ロリプラム投与は大脳cAMP細胞内情報伝達系を活性化し、学習記憶障害を改善</p>
治療剤、脳梗塞モデル、虚血モデル、モリス水迷路、学習記憶、アデニルサイクラーゼ活性、回避潜時、探索行動、水泳距離、速さ、体重 Wis, 180-220g, ♂	<p>Effects of nefiracetam on cerebral adenyl cyclase activity in rats with microsphere embolism-induced memory dysfunction</p> <p>S.Takeo, K.Tanonaka,他 東京薬科大 <i>Biol Pharm Bull</i> 26(3) 318-322(2003)</p> <p>マイクロフェア(47.5±0.5μ径、700個注入)誘発栓塞症記憶障害ラットへ痴呆症治療剤ニフェラセタムを投与、モリス水迷路試験で行動追跡能(TARGET/2)を用いて、学習記憶能の評価、ニフェラセタム投与で回避潜時が短縮され、栓塞後減少していた大脳アデニルサイクラーゼ^c(ACC)活性は上昇。ニフェラセタムは大脳アデニルサイクラーゼ^c(ACC)活性を上昇させて、学習記憶能を改善すると考えられる。</p>
治療剤、ニフェラセタム、マイクロフェア梗塞、cAMP、Wis,180-220g, ♂、♂	<p>A possible mechanism for improvement by a cognition-enhancer nefiracetam of spatial memory function and cAMP-mediated signal transduction system in sustained cerebral ischaemia in rats</p> <p>S.Takeo, J.Hara,他 東京薬科大 <i>Br J Pharmacol</i>, 138 642-654(2003)</p> <p>マイクロフェア(48μ径、700個注入)誘発栓塞症記憶障害ラットへニフェラセタムを投与、持続的大脳虚血による記憶機能を行動観察、モリス水迷路試験にて評価、cAMP経路神経伝達変換系に対しての認知刺激剤ニフェラセタムによる改善</p>
治療剤、ニフェラセタム、マイクロフェア梗塞、モリス水迷路、GABA、アセチルコリン、コリン、アセチルコリン合成酵素、cAMP、Wis,180-220g, ♂	<p>Effects of nefiracetam on spatial memory function and acetylcholine and GABA metabolism in microsphere-embolized rats</p> <p>T.Fukatsu, S.Takeo,他 東京薬科大 <i>Eur J Pharmacol</i>, 453 59-67(2002)</p> <p>マイクロフェア(47.5±0.5μ径、700個注入)誘発栓塞症記憶障害ラットへニフェラセタムを投与し改善効果の評価(梗塞様神経損傷(動作が減少、体軸周りに回転(横転)、一定方向へ円を描いてぐるぐる回転など)は術後7-10日で消滅、水迷路試験は術後7-10日目に実施、血管結紮再還流による梗塞モデルよりモリス水迷路で回避潜時の長期化など梗塞の程度が重い)</p>
神経再生治療、結紮性脳虚血モデル、脳血管新生、ヒトCD34+細胞移植、神経新生、病理組織像、SCID、5W, ♂	<p>Administration of CD34+ cells after stroke enhances neurogenesis via angiogenesis in a mouse model</p> <p>A.Taguchi, T.Matsuyama, 他、国立心血管センター、兵庫医科大、他 <i>J Clin Invest</i> 114(3)338(2004)</p> <p>左中大脳動脈のM1部位の結紮による脳虚血モデル作成、12W生存率95%、発作症状なしヒトCD34+細胞注入移植により脳血管新生が促進され、異常行動が改善神経再生試験には24WのSCIDマウスを使用、結紮直後に比しCD34+移植35日後には神経細胞が増加。オープンフィールド試験による行動分析(音による驚愕反応)、水迷路試験、受動回避試験を細胞移植後35日、90日に実施。梗塞後のCD34+細胞移植により梗塞部位の血管が新生され、神経再生への有効な治療となる。</p>

神経系関連(行動試験における系統差)文献リスト(2004-2008)

日本チャールス・リバー株式会社

分野・キーワード	表題・研究者・掲載雑誌
自閉症 社交性、モリス迷路試験 T迷路強制移動試験、 高架式迷路試験、 C57BL/6J、C57L/J、 DBA/2J、FVB/NJ、 C3H/HeJ、AKR/J、A/J、 BALB/cByJ、BTBRT(+) ^{tf} /J、129S1/SvImJ	Mouse behavior tasks relevant to autism: phenotypes of ten inbred strains <i>Shery SS, Moy Jacqueline N, N. Crawley et al., Behav Brain Res., 176(1) 4-20(2007)</i> 自閉症の典型的パターンをセッ10系統のマウスについて測定 社交性の欠如 を位置志向性、T迷路強制移動テスト、モリス迷路試験により測定 C57BL/6J, C57L/J, DBA/2J, FVB/NJ, C3H/HeJ, AKR/J: 社交性あり、 A/J, BALB/cByJ, BTBRT(+) ^{tf} /J, 129S1/SvImJ: 社交性なし 不安行動は高架式迷路試験により判定: A/J, BALB/cByJ, 129S1/SvImJは高いスコアを示し、低い社交性と一致、 記憶と学習能力はモリス迷路試験により判定: DBA/2J, BTBRT(+) ^{tf} /J, AKR/Jが成功率高い BTBRT; ^g /Jは社交性が低くて変化を嫌い固執する自閉症素質をもつ
自閉症、 社交性、マウス系統差、 雌雄差、老若差 体重、立毛、寄り添い行 動、角膜反応、鼻毛耳介 反応、臭覚、 A/J、C57BL/6J、 DBA/2J、FVB/NJ、 B6129PF2/J	Sociability and preference for social novelty in five inbred strains: an approach to assess autistic-like behavior in mice <i>Moy SS, Brawley JN, et al., Genes Brain Behav 3(5)287-302(2004)</i> 自閉症の初期マーカーである社交性スコアを数値化し、マウスの系統差を測定する方法を開発 ①常時滞り場所を中央に、回りに未知の場所を設置、②テストマウスの両側に既知のマウスと未知のマウスの間を設置 試行前に体重、身体反応、自発行動などを観察、その後①②の状況下におけるマウスを観察、各場所滞り時間、移 動回数を測定 A/Jは常時滞り場所から移動することなく、他4系統(C57BL/6J, DBA/2J, FVB/NJ, B6129PF2/J)は 雌雄、老若関係なくよい社交性スコアを示した。
覚醒剤反応性、系統差、 amphetamine、ドーパミン、 自発運動活性、 C57BL/6J、 129S2/SvHsd	C57BL/6J mice show greater amphetamine-induced locomotor activation and dopamine efflux in the striatum than 129S2/SvHsd mice <i>Chen R, Gnegy ME, et al., Pharmacol Biochem Behav., 87(1)158-63(2007)</i> 覚醒剤amphetamine投与時の自発運動活性locomotorはC57BL/6Jの方が129S2/SvHsdより大 線条体のdopamine量は投与前では差がないが、amphetamine投与による増加量はC57BL/6Jの方が大 覚醒剤と興奮剤の開発では、神経系の行動反応性に動物系統差がある点に注意
行動への環境温度の影 響、 睡眠パターン、深部体温、 脳波、筋電図、体温、自 発運動活性、ウイルス感染、 白血球数、サイトカイン、 C57BL/6J	Effect of environmental temperature on sleep, locomotor activity, core body temperature and immune responses of C57BL/6J mice <i>Jhaveri KA, Toth LA, Et al., Brain Behav Immun. 21(7)975-87(2007)</i> 高めの体温は免疫能を上昇させ、感染や炎症防御作用を呈す 体温を変化(22, 26, 30°C)させ、睡眠パターン、深部体温、脳波、筋電図、体温、自発運動活性を測定 高め(26, 30°C)では睡眠が浅く、断眠後の回復が早い。 インフルエンザウイルス感染マウスでは30°C下に比し、22, 26°C下で睡眠が浅く、眼球の早い動きや自発運動活性が減少 し、 低体温症が顕著、ウイルス感染マウスは30°C下で、白血球減少は少なく、サイトカイン誘導も少ない。
行動生理学的系統差 エネルギーバランス、 制限食、自発運動、 摂餌量、体重、体温、 コルチゾン、レプチン、 白色、褐色脂肪細胞、 神経ペプチド(NPY)、 DBA/2J、C57BL/6J、 A/J	Behavioral, physiological and molecular differences in response to dietary restriction in three inbred mouse strains. <i>Glegen C, Kas MJ et al., Am J Physiol Endocrinol Metab., 229(3)E574-81(2006)</i> 制限食による行動の変化に系統差がみられる。 制限食状態での行動生理学的試験では系統差に留意する必要性あり 自発運動活性: DBA/2J、A/Jは上昇、C57BL/6Jは上昇しない 体温: DBA/2J、C57BL/6Jは体温低下顕著、血漿レプチン量減少顕著 DBA/2J: 白色、褐色脂肪組織体積の減少顕著などの系統差は遺伝的素因に起因

分野・キーワード	表題・研究者・掲載雑誌
自発運動活性、 系統差、遺伝的要因、 ドーパミンD3、 C57BL/6J、DBA/2J	<p>C57BL/6J mice exhibits reduced dopamine D3 receptor-mediated locomotor-inhibitory function relative to DBA/2J mice</p> <p><i>McNamara RK, Richtand NM, et al., Neuroscience 143(1) 141-53(2006)</i></p> <p>C57BL/6JはDBA/2Jより自発運動活性が大: ドーパミンD3受容体関与自発運動抑制機能がC57BL/6Jでは低下。2系統のこの抑制機能の遺伝的差は、D3R機能への遺伝子の関与の解明に有用</p>
オペラント行動、方法差、 系統差、体重、 129X1/SvJ、C57BL/6J、 DBA/2J、BALB/cJ、CD- 1(CR)、C3H/HeJ	<p>Differential acquisition of lever pressing in inbred and outbred mice: comparison of one-lever and two-lever procedures and correlation with differences in locomotor activity</p> <p><i>McKerchar TI, Fowler SC et al., J Exp Anal Behav., 84(3) 339-56(2006)</i></p> <p>餌(ミルク)の有無及び有効と無効の2つのレバーを使用したオペラント行動における系統差: BALB/cとCD-1はレバー押し数が他の系統より多いし、レバーの数の差による差無し、C3Hは2回目の試行でのレバー押し回数の増加が顕著、レバーへの跳躍場所と移動時の行動:どのマウスも強制的レバー押し行動の獲得は早い</p>
学習記憶能力、 レバー押し試験、 C57BL/6NCrIBr、BALB/ cByJ、C3H/HeJ、CD1、 SD、129S6/SvEvTac、 FVB/NJ、 DBA/2NCrIBR	<p>Genetic differences in leverpress escape/avoidance conditioning in seven mouse strains</p> <p><i>F.X.Brannan Genes. Brain and Behavior 3 110-114(2004)</i></p> <p>条件付きレバー押し試行での系統差: 学習記憶における遺伝的素因の差 回避成功率: C57BL/6NCrIBr, BALB/cByJ, C3H/HeJ, CD1 > SD >>> 129S6/SvEvTac, FVB/NJ(訓練後も低い) DBA/2NCrIBR: 最終回で顕著に良い(成功率90%)</p>

統合失調症関連文献リスト(2002-2003)

日本チャールス・リバー株式会社

分野・キーワード	表題 ・ 研究者 ・ 掲載雑誌
統合失調症 抗精神薬 条件回避反応試験 シヤトルボックス Wis, 220-240g、♂	<p>Antipsychotic action of selective group II metabotropic glutamate receptor agonist MGS0008 and MGS0028 on conditioned avoidance responses in the rat</p> <p><i>K.Takamori, M. Tanaka, 他、 Life Sciences 73 1721-1728(2003)</i></p> <p>選択的代謝性グルタミン受容体作動薬(mGLuR)による抗精神薬様作用: 錐体外路症候群(筋緊張亢進、運動減退症候群など)の副作用は発生無し (グルタミン酸性異常:統合失調症を含む精神疾患を引き起こす) 条件回避反応試験:シヤトルボックスにラットを入れ、フサーや床からの電撃により刺激をあたえ、 隣の部屋へ回避する反応を測定、抗精神薬の投与により反応回数が減少</p>
統合失調症 抗精神薬 条件回避反応試験 シヤトルボックス Wis, 180-240g、♂	<p>Antipsychotic profile of NRA0562 in rats</p> <p><i>K.Takamori, K. Kameo, 他、 大正製薬(株) Life Sci 71 947-959(2002)</i></p> <p>神経弛緩薬NRA0562の経口投与による抗精神作用、条件回避反応試験での 他剤との比較評価、少量で既剤risperidone同様の抗精神効果を示した。</p>

うつ病関連文献リスト(2001-2006)

日本チャールス・リバー株式会社

分野・キーワード	表題・研究者・掲載雑誌
抗うつ薬、不安行動 情動過多スコア、 すくみ行動 高架式十字迷路試験 Wis, 7W, ♂	<p>恐怖条件付けストレスモデル及び嗅球摘出モデル(OBラット)を用いた抗うつ薬の開発</p> <p>斎藤顕宣、亀井淳三、他 星薬科、日本ハイオリサーチ <i>JPN J Neuropsychopharmacol</i> 23 75-82(2003)</p> <p>情動過多反応性、高架式十字迷路試験、すくみ行動と電撃強度</p>
不安行動、 高架式十字迷路試験 オープンアーム CD(SD), 250-300g, ♂	<p>Hippocampal serotonergic system is involved in anxiety-like behavior induced by corticotropin-releasing factor</p> <p>Y.Kagamiishi, S.Watanabe,他 九大・薬院、小野薬品 <i>Brain Research</i> 991 212-221(2003)</p> <p>(コルチコトリン放出因子誘導不安行動への海馬セロトニンの関与、うつ及び不安障害患者におけるCRF分泌過剰)</p>
抗うつ剤、不安行動、 強制水泳、 高架式十字迷路試験 CD(SD, Wi, 220-240g, CD-1, 20-30g, ♂	<p>Anxiolytic-and antidepressant-like profile of a new CRF1 receptor antagonist, R278995/CRA0450</p> <p>S.Chaki, S.Okuyama,他 大正製薬, ジョンソン&ジョンソン <i>Eur J Pharmacol</i> 485 145-158(2004)</p> <p>CRF1受容体拮抗剤の抗不安作用と抗うつ作用</p>
抗うつ剤、大正製薬、 強制水泳、不動時間 WIS, 210-260g, ♂	<p>Effect of ACTH on the imipramine-and desipramine-induced decrease in duration of immobility time as measured in a rat forced swimming test</p> <p>K.Takamori, S.Okuyama, 他 大正製薬(株) <i>Life Scie</i> 69 1891-1896(2001)</p> <p>強制水泳実験において、イミプラミンやデジプラミンにより減少する不動時間 へのACTHによる調節作用</p>
抗うつ剤、岡山大学 強制水泳、不動時間 Wis, 180-230g, ♂	<p>Influence of ACTH on the effects of imipramine, desipramine and lithium on duration of immobility of rats in the forced swim test</p> <p>Y.Kitamura, Y.Gomita, 他 岡山大・医 <i>Pharmacol Biochem Behav</i>, 71 63-69(2002)</p> <p>ACTH長期投与によるイミプラミン、デジプラミン及びリチウム等の抗うつ剤耐性うつ病ラットモデル作製</p>

分野・キーワード	表題・研究者・掲載雑誌
不安行動、転写ヘパド、社会性行動、高架式十字迷路試験 Wis,300-400g,♂, ICR(CD-1),25-36g,♂	<p>Cocaine-and amphetamine-regulated transcript peptide produces anxiety-like behavior in rodents</p> <p><i>S.Chaki, S.Okuyama,他 大正製薬</i> <i>Eur J Pharmacol, 464 49-54(2003)</i></p> <p>コカイン及びアンフェタミン誘導転写ヘパドは不安行動を引き起こす</p>
抗うつ剤、強制水泳試験 不動時間、 Wis,180-230g,♂	<p>5-HT1A receptor full agonist, 8-OH-DPAT, exerts antidepressant-like effects in the forced swim test in ACTH-treated rats</p> <p><i>Y.Kitamura, Y.Tanizaki,他 岡山大・医、愛媛大・医</i> <i>Eur J Pharmacol, 481 75-77(2003)</i></p> <p>ACTH投与ラットを用いた強制水泳テストにおいて5HT1A受容体作動薬 8-OH-DPATは抗うつ剤様の働きを示す</p>
低体温症、治療剤、抗うつ剤、体温、 Wis, 180-300g,♂	<p>Modulation of 8-OH-DPAT-induced hypothermia by imipramine in rats</p> <p><i>Y. Kitamura, Y.Tanizaki,他 岡山大・医、愛媛大・医</i> <i>J Pharmacol Sci 93 259-264(2003)</i></p> <p>8-OH-DPAT誘導低体温症の抗うつ剤イミプラミンによる緩和: 5HT取り込みを抑制する</p>
恐怖条件付けストレスモデル dopaminn量、 強直行動、毛づくろい時間 Wis,6W,♂	<p>Enhancement of delayed release of dopamine in the amygdala induced by conditioned fear stress in methamphetamine-sensitized rats</p> <p><i>T.Suzuki, H. Miyaoka,,他 北里大・医</i> <i>Eur J Pharmaco, 453 59-65(2002)</i></p> <p>恐怖ストレスによるドーパミン放出(メタンフェタミン誘発恐怖、扁桃よりのドーパミン放出量、恐怖による静止時間、毛繕い不応時間)</p>
抗うつ剤、ニコチン 強制水泳試験 BALB/c、20-30g、♂	<p>Antidepressant-like action of nicotine in forced swimming test and brain serotonin in mice</p> <p><i>Suemaru K, Yasuda K, Araki H, 他 愛媛大薬</i> <i>Physiol Behav, 88(4-5), 545-9(2006)</i></p> <p>ニコチンの抗うつ剤様作用、セロトニン系作用との関連</p> <p>Goole Scholar情報 Male BALB/C mice (Charles River Lab., Atsugi, Japan) weighing 20-30 g ... systems and decreased 5-HT turnover in BALB/C mice [20].</p>